

## 2

# 生涯学習を取り巻く社会的背景

## (1) 上尾市の概況

### 沿革

江戸時代の上尾市域は、五街道の一つである中山道に整備された69の宿場町のうち、江戸から5番目の宿「上尾宿」として知られるようになりました。その一方、平方は荒川を利用した江戸への物資運搬の川岸場として、また原市は市場集落としてそれぞれ発展しました。

江戸時代末期には、上尾市域は40余りの宿村に分かれていましたが、明治22年と大正2年の合併により、上尾町、平方村、原市町、大石村、上平村、大谷村の6か町村になりました。

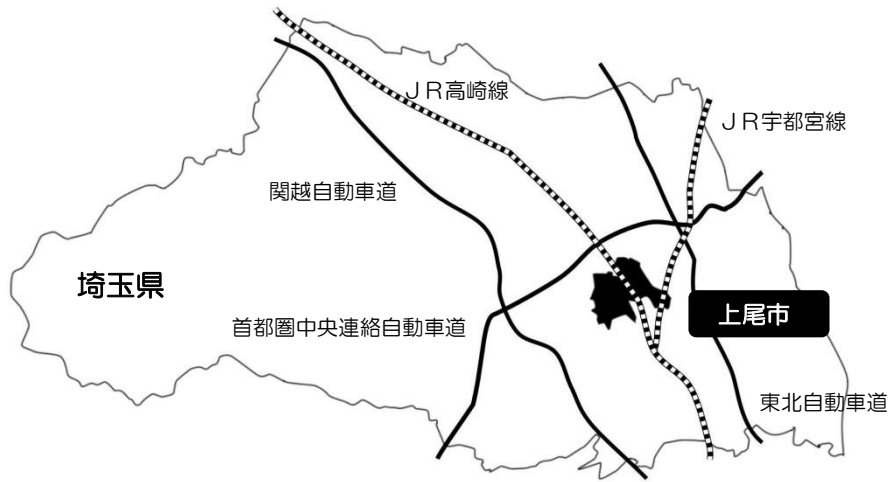
明治16年には高崎線開通と同時に上尾駅が設置され、中山道とともに市街地形成の基礎になりました。明治末期には、近代工業の先駆けとして上尾町や平方村に製糸工場が立てられ、昭和になってからは、機械・金物・食品工場も操業し、工業都市としての下地が作られました。

昭和30年に6か町村が合併し「上尾町」となり、さらに昭和33年7月15日の市制施行により、埼玉県内19番目の市である「上尾市」となりました。その後、人口が急増する中、上尾駅東口の再開発、ニューシャトル沼南駅・原市駅・JR北上尾駅の開業、上尾駅の改修、上尾道路の整備等が行われ、住宅都市へと変貌しました。

### 位置

上尾市は、東京近郊35キロメートル(km)圏、埼玉県の南東部に位置し、大宮台地のほぼ中央部に市域を持っています。東経139度35分、北緯35度58分に位置し、東西10.48キロメートル(km)、南北9.32キロメートル(km)に広がり、45.51平方キロメートル(km<sup>2</sup>)の面積があります。また、東は伊奈町及び蓮田市に、南はさいたま市に、西は川越市と川島町に、北は桶川市と隣接しています。(図1)

■図1 上尾市の位置

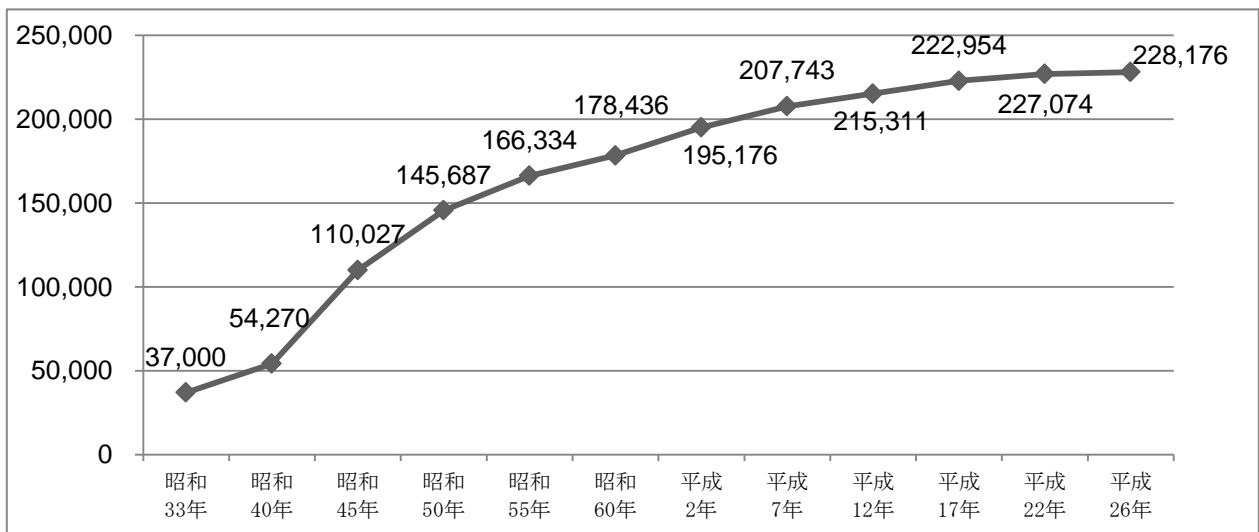


人 口

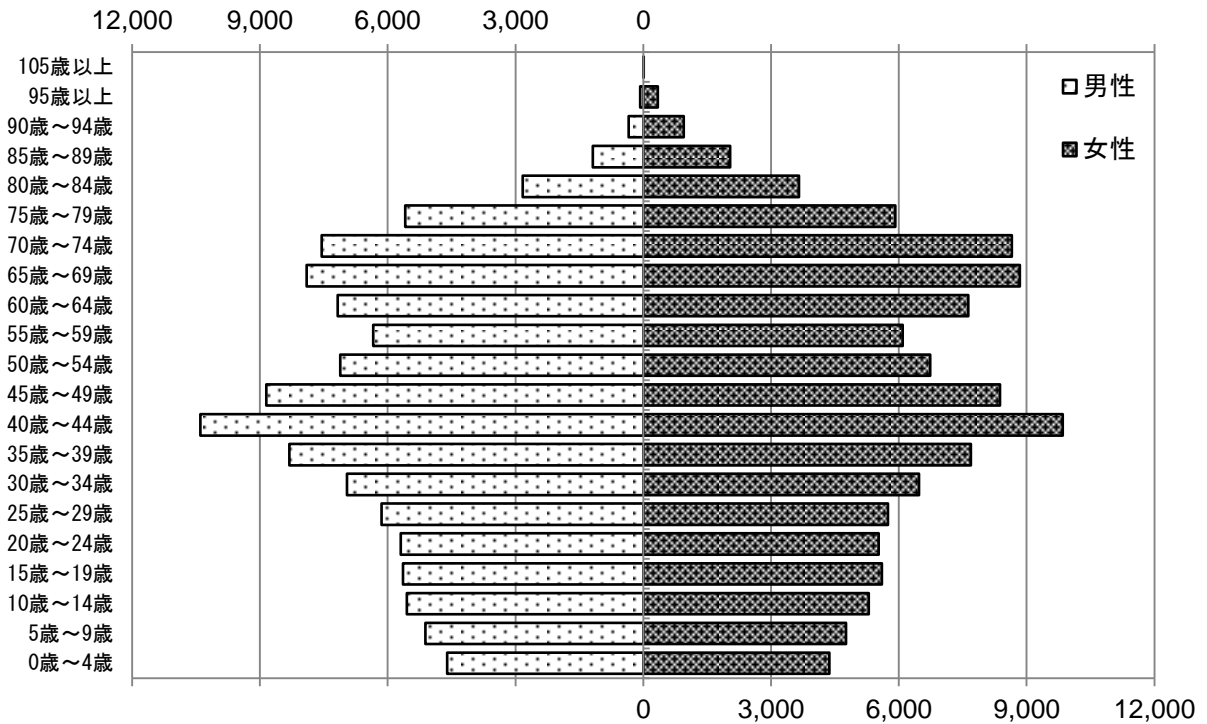
市内の総人口は、市制施行した昭和33年には約3万7,000人でしたが、平成15年に22万人に達したところで、年々増加の割合は緩やかとなり、平成27年1月1日現在には22万7,897人となりました。(図2)

また、5歳階級別人口では、男女ともに65歳から69歳までのいわゆる「団塊の世代」の層と、40歳から44歳までの「団塊ジュニア」の層を中心に厚みがありますが、30歳から34歳以下の人口では、年代が低くなるほど少なくなっています。今後もこの傾向が続くことが予想され、少子・高齢化及び人口減少社会に対応したまちづくりが求められます。(図3)

■図2 上尾市総人口の推移



■図3 上尾市5歳階級別人口



(平成27年1月1日現在) 単位：人

年齢	人口計	男性	女性
0～4歳	8,972	4,602	4,370
5～9歳	9,875	5,116	4,759
10～14歳	10,850	5,555	5,295
15～19歳	11,242	5,640	5,602
20～24歳	11,220	5,693	5,527
25～29歳	11,891	6,146	5,745
30～34歳	13,423	6,954	6,469
35～39歳	15,999	8,308	7,691
40～44歳	20,251	10,402	9,849
45～49歳	17,223	8,848	8,375
50～54歳	13,853	7,116	6,737
55～59歳	12,430	6,344	6,086
60～64歳	14,804	7,175	7,629
65～69歳	16,744	7,907	8,837
70～74歳	16,201	7,552	8,649
75～79歳	11,511	5,593	5,918
80～84歳	6,484	2,832	3,652
85～89歳	3,224	1,189	2,035
90～94歳	1,289	343	946
95歳以上※	411	71	340
105歳以上	4	0	4

※95歳以上は105歳以上も含む